

平成 29 年 9 月 15 日

安 全 だ よ り

発行 下松市シルバー人材センター安全委員会

44号



＊事故状況

ようやく、しのぎやすい気候となってきましたが、熱中症には、引続き気を付けて頂きたいと思います。

さて、当センターの、ここ 5 年間の事故の発生状況は、下表のようになっております。
平成 15 年度の 12 件(傷害事故 7 件、損害賠償事故 5 件)をピークに、会員の皆さんの長年にわたる安全就業へのご尽力により減少はしておりますが、平成 27 年度には当センター発足して初めての重篤事故が発生しております。

事故発生状況

年 度	24	25	26	27	28	計
傷害事故 (件)	2	0	0	1 (重篤)	1	4
損害賠償事故 (件)	0	3	3	0	2	8
計	2	3	3	1	3	12
会員数 (年度末・人)	622	598	558	541	532	-
平均年齢 (歳)	70.2	70.8	71.4	72.0	72.3	-

傷害事故については、5 年間の計 4 件中、3 件が転倒によるものであり、損害賠償事故については、5 年間の計 8 件中、7 件が草刈作業中の小石の飛散による車両等のガラスの破損によるものです。

会員の皆さんの平均年齢も、年々、高くなっております。
今後も安全就業基準の遵守による安全就業はもとより、健康管理、交通安全にもくれぐれも気を付けていただきますようお願いいたします。

＊平成 29 年度「安全・適正就業推進大会」報告

7月8日(土)10時～12時、スターピアくだまつ展示ホールにおいて、73人の方が参加され開催されました。

官田理事長のあいさつにつづき、記念講演は「県内・下松市における交通事情」という演題で、下松警察署交通課長 永田通郷さんにお話しをしていただきました。

内容として、今年はすでに907件(6月まで)の事故が発生していて、昨年と比較し多くなっており、特に高齢者の事故が多発しているので十分注意してほしいということでした。それに、今年の3月から「道路交通法」も新たに改正されましたので、認識しておく必要があります。

次に、安全標語の優秀作品が発表され、以下の通り表彰されました。おめでとうございます。

最優秀作品 『気のゆるみ 慣れた作業に ひそむ事故』 松永 善男 会員

優秀作品 『安全は 守る心と やる勇氣』 田村 敏勝 会員

優秀作品 『無理すれば 必ず潜む 落とし穴』 末光 義正 会員



引き続き、安全委員会 栗岡宗弘氏の「ヒヤリ・ハット事例発表」がありました。「ヒヤリ・ハット」の全県の統計をグラフで表示して、その危険度の高さを説明され、当センターの「安全就業基準」手帳を掲げながら、その重要さを説明されました。また、当センターでの事故の例も挙げ、図で表示しながら「何がいけなかったのか」「今後どうしていけばよいか」をステージのスクリーンに表示しながら詳しく解き明かしてくれました。

最後は、皆さん全員で「安全・適正就業」を宣言して閉会しました。

